

JCD

Kansai

2024.3.Vol.79



DMX × SENMU

演出照明にもSENMU

DMX調光器具も SENMUの制御でまとめてコントロール

ゲートウェイよりDMX調光信号を出力出来るようになり、DMX調光器具を用いて演出、ループ再生が可能です。
作成したDMXのシーンを「ループ」させることができ、1日のスケジュールの中に組み込むことができます。
SENMU専用タブレットで簡単に設定が可能です。
無線制御システムとDMXの組み合わせは業界初。
(※2024年1月現在 当社調べ)



専用タブレットの簡単な操作で様々な演出照明の設定が可能



ゲートウェイ (DMX対応)



LUMICOLOR TAPE LIGHT
R・G・B・ライム (フルカラー)

DMX信号対応
演出照明器具の
使用が可能です

無線制御システム

SENMU
Wireless Addressable Lighting Control



SENMU
無線制御システム
Wireless Addressable Lighting Control Vol.2

DAIKOホームページ
SENMUカタログ vol.2



新製品280点をプラスして既製品とともに
[SENMU] 対応の全製品を1冊にまとめて掲載。

SENMUの4つのポイント

POINT
01

器具毎に自由に制御
自由度の高い個別制御で
こまやかに明るさを最適化

POINT
02

場所・時間に合わせて制御
登録した設定を、24時間自動再生
快速、省エネを実現

POINT
03

シーン毎に簡単に切り替え
使用状況に応じて
照明設定を登録・呼び出しが可能

POINT
04

現場導入がかんたん
信号線の配線工事が不要なので
既存配線を利用したリニューアルにも最適

大光電機株式会社
本社/Tel.(06)6222-6240 Fax.(06)6222-6252
〒541-0043 大阪市中央区高麗橋3-2-7高麗橋ビル



Follow me!

Instagram



DAIKO
オフィシャル
インスタグラム

DAIKO
https://www.lighting-daiko.co.jp

JCD
関西支部

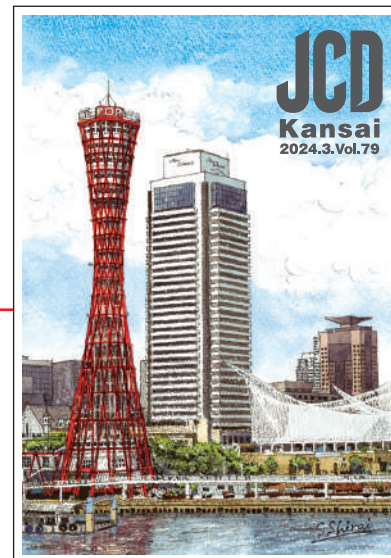
2024.3 Vol.79

(一社)日本商環境デザイン協会 関西支部
JCD kansai 2024年3月 第79号

[表紙・水彩画]

「60周年を迎えるポートタワー」

評議員 白井 進



報告

JCD関西支部活動報告

2024年度活動予定 ————— 中村 裕輔 02

JAPAN SHOP 大阪 2023 ————— 中村 裕輔 03

特集

日本空間デザイン賞2023

KUKAN OF THE YEAR 日本経済新聞社賞3作品が決定

審査員選評・受賞作品紹介(グランプリ・RUNNER-UP・金賞) ————— 水野 学／佐藤可士和 他 04

特集

JCDプロダクトオブザイヤー2023

上位製品紹介及び審査評 ————— 花澤 裕二／窪田 茂 他 08

連載

NEXT GENERATION

修成建設専門学校 空間デザイン学科の2023年度トピックス ————— 鍵谷 啓太 10

Working Now

新入会員紹介 ————— 池田 励一 11

報告

委員会活動報告

秋のトークイベント NEXT GENERATION-デザイナーとメーカーの新しいカタチ-vol.1 — 盛 世匡 12

USD-Oデザインカンファレンストーク ————— 斉藤 俊二 13

2023JCDkansaiクリスマスイベント NEXT GENERATION-デザイナーとメーカーの新しいカタチ-vol.2 — 仲 達則 14

第15回 大阪市あさないグランプリ ————— 東 潤一郎 16

空間プロデュース展2024 ————— 中村 裕輔 17

2024年 3月号 vol.79 令和6年3月発行

【発行元】(一社)日本商環境デザイン協会 関西支部 〒541-0055 大阪市中央区船場中央1-3-2-101 船場センタービル2号館1階 (一財)大阪デザインセンター内 TEL.06-6265-2260 FAX.06-6265-2270

総括委員長／斉藤 俊二 広報委員会・委員長／中山 拓 村田 みどり 制作:グラフィックアーツ ベルテ

2024年度活動予定

関西支部 支部長 中村 裕輔

- USD-O大阪デザイン団体連合との取り組み(万博委員会)
- 関西支部・各委員会の合同委員会の実施(月1回)
- 機関誌「JCD kansai」の発刊

7月 第3回 賛助会員 NEXT GENERATIONの開催

10月17日 JAPAN SHOP 大阪 2024への協力
～18日 インテックス大阪で開催されるジャパンショップへの協力
USD-Oブースでの展示

11月 関西学生シンポジウムへの参加
JID/USD-O主催

12月初旬 クリマスイベント&第4回 賛助会員 NEXT GENERATIONの開催

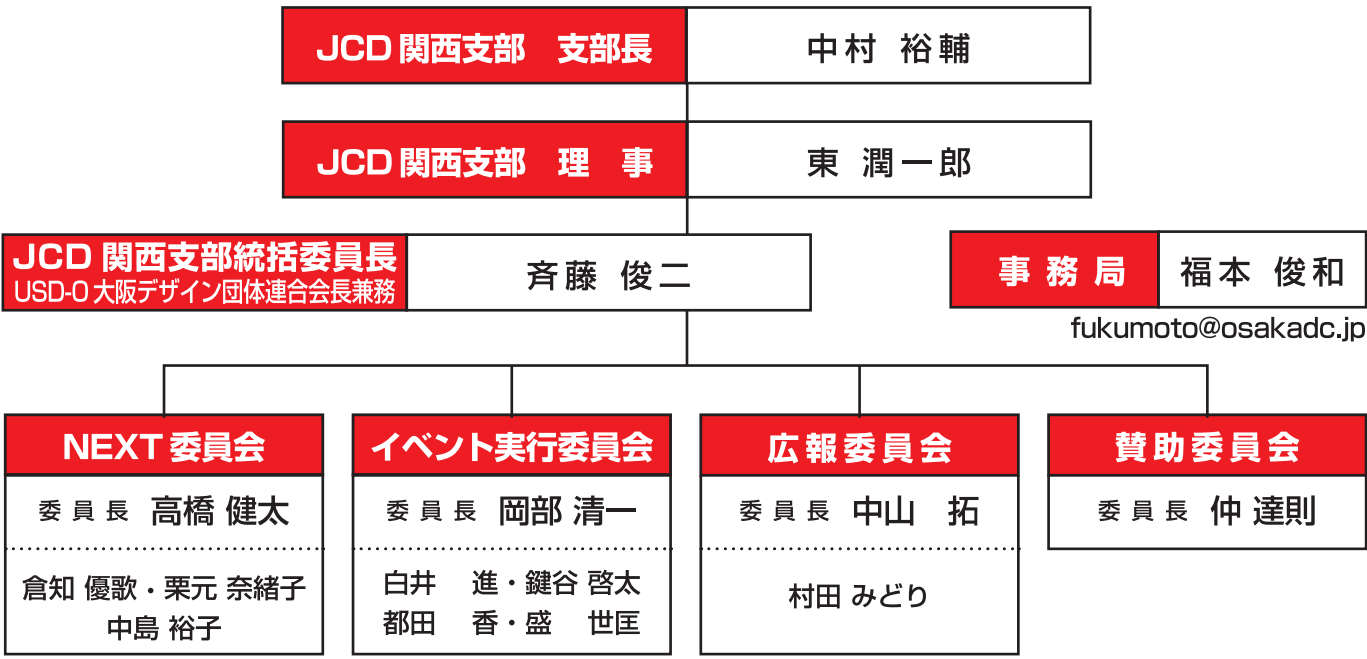
1月初旬 絵馬展の開催
大阪デザインセンターにてUSD-O主催

1月初旬 大阪市商店会総連盟主催 大阪市あきないグランプリ表彰式への参加
JCD賞の表彰

2月初旬 空間プロデュース展への参加 未定 住まい情報センタータイアップ事業
大阪産業創造館にて開催 「みんなで創る商店街」「出前授業・みんなで創る商店街」にて子供の模型創りのワークショップ
依頼学校を募集中

3月 日本の空間デザイン展への参加
DSA/SDA/JIDと合同出展

2023/2024年度 (一社)日本商環境デザイン協会・関西支部 組織表



JAPAN SHOP 大阪 2023

関西支部 支部長 中村 裕輔

大阪発のジャパンショップ開催に向けて、まずはJCD本部の永井副理事長からご紹介を頂き、東京本社の日経新聞社ご担当者様の方々とアイデア出しのプレストを行いました。

従来の東京開催に対して大阪は一味違った「大阪らしさ」を前面に出したいといったお題に対し、色々なお話をさせてもらいました。その中で「気取らないコミュニケーション」に特化し、会場の中に皆が気軽に集えるスペースを設け、そこを活用したコミュニケーションの活性化、賑わいの演出を図りたいとの提案を採用頂き、是非JCD関西のブースで実現して欲しいということになりました。

日時: 7月20日(木)～7月21日(金) 10:00～16:30
場所: インテックス大阪
参加者数: 12,000名
出展参加団体: JIDA, JID, SDA, JCD, DSA, JPA
協力: 吉野中央木材株式会社、有限会社グリーンフォレスト・エンタープライズ、株式会社a.a.c

このお話を大阪に持ち帰り協議しましたが、JCD関西だけの出展ではなく万博協議などで盛り上がりを見せているUSD-O大阪デザイン団体連合での出展のほうがより拡く大阪のデザインをアピール出来ると判断し、USD-Oでの参加を決定しました。



ブーステーマは「デザインの水辺」

大海をデザイン界、陸地を社会に置き換えその狭間で活躍するデザイナーをイメージしています。又それを具現化するものとしてアクアリウムのディスプレイ展示と流木を連想させる天然の銘木の家具を各所に設置し自然感の溢れるウェルビーイングな空間を創出しました。中央の一枚板のビッグテーブルではドリンク片手に雑談をしながら一休みをする方々と賑わい、暑い時期での一服の清涼を感じ取ってもらえたかと思います。

KUKAN OF THE YEAR 日本経済新聞社賞3作品が決定

GOLDWIN PLAY EARTH PARK TOYAMA「風の遊具」

水野 学

最終審査まで残った作品はどれも素晴らしく甲乙つけがたいものだった。その中で、この遊具は、「子どもが楽しめるものであること」においても秀でていた。震災、災害、ウイルス、戦争や紛争など、この数年最も大きな不安の中にいたのは、子どもたちかもしれない。その子どもたちが、笑顔になれば、学びを得ることもできる企画であったことが「2023年」のKUKAN OF THE YEAR 受賞にふさわしいと感じた。出品された作品は、公的なものから、企業のもの、個人のものに至るまで、幅広くあった。空間をどうデザインするかはもちろんのこと、企業が得た収益を何に使うかという出発点においても審査の対象とさせていただいた。

星野神社 覆殿・本殿(愛知豊川市指定文化財)

佐藤 可士和

1600年代の建立と推測される神社の本殿を復原・修復し、その保護のための「覆殿」と呼ばれる老朽化した外殻も新築したプロジェクトである。今後100年、200年と受け継がれていく神社建築を護るこの「覆殿」もまた伝統的な技法を継承するための建築であると捉え、デザインされている。主に3つの要素に着目し高く評価した。

- 1:「文化」伝統技術とテクノロジーの融合によって、今後の神社建築の技術継承の可能性をより高めていった点。口伝や経験則が主であった古来の技法を現代の技術検証によって解析し、伝統文化を次世代へつなげていく役割を果たしている。
- 2:「環境」使用される材料に配慮し、すべての木材を同地域の御宮が所有する森から供給することで地場産業の活性化に加え、資材運搬距離を最小にとどめることで、世界的な社会問題でもある建設行為のエネルギー削減についての根源的な解決がなされている。
- 3:「人」本建築が、建築技術を学ぶ者、管理する者、利用する者に公開され、その知見を学ぶ場として機能する点。未来の人材の育成に大きく寄与していると思われる。

「文化」「環境」「人」それぞれの未来についての高い志を一つの空間にまとめ上げた、施主・設計者・施工者の胆力には心から感服した。また、銅板で葺かれた切り妻屋根と柱・貫の水平・垂直のラインで構成されたシンプルなデザインが、日本の美意識を極めて高い意匠性をもって表現していることは、特筆すべき点である。今後ますます増えていくであろう伝統文化のリノベーション、リデザインの未来を提示してくれたプロジェクトである。

Sumu Yakushima
~Regenerative Life Studio~

木田 隆子

未来に向かう空間とはどのようなものだろうか。未来を夢見ることが難しい時代にあって、屋久島に建てられた本作には、一つのヒントが含まれていた。コンセプトは、Regenerative architecture-環境再生建築。建築を建てることで、さらにその土地の自然をポジティブに生かすことができるのではないかと。建築は自然環境に対して、もっと積極的な役割を果たせるのではないかと。そのような思いから生まれたのは、住居を建てる過程で、土の中の環境をもデザインしていこうという考え方だった。まずは、土の中の空気や水の流れに配慮した独立基礎を採用し、その下には焼いた木の杭を打ち込む。炭化した木をハブにして、人為的に土壌菌のネットワークをつくるためである。菌糸は建築物の下で周囲の木の根とも共生して、地盤の強度を保つ。また、高床式を採用して、敷地だけではなく、敷地の周囲の山から海へ抜ける水や風の道を妨げないように配慮している。建築家が、敷地の（この場合は屋久島）土壌そのものをもデザインしてみようと考えた実験精神と問題意識の深さには共感が集まった。一方、審査会では住居デザインには、さらなる工夫の余地もあったのでは?という意見もあった。この作品は、気候変動や温暖化がリアルな姿を見せはじめている現代において、未来のあるべき空間を担う建築家やインテリアデザイナーに見過ごせない重要な視点を提供してくれている。そのことの意味は大きい。

星野神社 覆殿・本殿(愛知県豊川市市指定文化財)

Grand Prix



望月成高/望月工務店、望月建築設計室

サステナブルデザイン賞

- ◆カテゴリー: 09 公共生活・コミュニケーション空間
- ◆所在地または展示場所: 愛知県豊川市平尾町上貝津
- ◆完成年月または展示開始日: 2022-05-15
- ◆ディレクション: 望月成高/望月工務店、望月建築設計室
- ◆デザイン: 望月成高/望月工務店、望月建築設計室
- ◆宮大工: 望月成高/望月工務店、望月建築設計室
- ◆施工: 望月工務店
- ◆構造設計: 川端眞/川端建築計画
- ◆クライアント: 星野神社
- ◆撮影者: 萩原ヤスオ



GOLDWIN PLAY EARTH PARK TOYAMA「風の遊具」

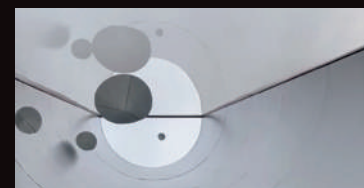
Grand Prix



中村竜治/中村竜治建築設計事務所

サステナブルデザイン賞

- ◆カテゴリー: 03 エンターテインメント&クリエイティブ・アート空間
- ◆所在地または展示場所: 富山県富山市湊入船町 富岩運河環水公園
- ◆完成年月または展示開始日: 2022-07-23
- ◆ディレクション: 中村竜治/中村竜治建築設計事務所
- ◆デザイン: 中村竜治、若木麻希子/中村竜治建築設計事務所
- ◆キュレーション: 橋口薫、和田雅史
- ◆構造設計: 円酒昂/円酒構造設計
- ◆施工: ダブルボックス、永原鉄工
- ◆クライアント: ゴールドウイン
- ◆撮影者: 中村竜治



Sumu Yakushima ~Regenerative Life Studio~

Grand Prix



小野司/tono

サステナブルデザイン賞

- ◆カテゴリー: 11 住空間
- ◆所在地または展示場所: 鹿児島県熊毛郡屋久島町麦生
- ◆完成年月または展示開始日: 2022-05-23
- ◆ディレクション: 今村祐樹/モスガイドクラブ
- ◆デザイン: 小野司/tono
- ◆クリエイティブディレクション: 西綾香/東京西海
- ◆その他: 自然電力
- ◆その他: 和久倫也/WAKUWORKS
- ◆施工: モッチョムクリエイト
- ◆クライアント: Sumu Yakushima
- ◆撮影者: Rui Nish



陸前高田市立博物館

田中利岳・橋本旬平／丹青社



◆カテゴリー:08博物館・文化空間 ◆所在地または展示場所:岩手県陸前高田市高田町 ◆完成年月または展示開始日:2022-11-05 ◆ディレクション:田中利岳・松丸裕之／丹青社 ◆デザイン:橋本旬平・林紗奈美／丹青社 ◆企画:増田彩乃／丹青社 ◆模型・造形:榛澤吉輝・中井弘志・吉田康寛／丹青社 ◆収蔵設計:ノノ瀬裕行・青島彩／丹青研究所 ◆グラフィックデザイン:魚岸由佳／uogishi design Inc. ◆プロジェクトマネジメント:越前小太郎・佐藤順治・樋口智哉／丹青社 ◆施工:丹青社 ◆クライアント:陸前高田市 ◆撮影者:河野政人／ナカサアンドパートナーズ、株式会社GoodFeeling

選評 内藤 純
博物館に陳列される展示作品にはメッセージが重要であることはいうまでもない。そのメッセージは、そこに携わる人たちの意思と制作のプロセス(行動)の上につくられる。この作品からは、「津波で展示品がすべて流された博物館を、ゼロから修復させる。」という多くの人々の覚悟と矜持を感じる。長い時月を経て再現された展示作品は強い生命力を発揮し、そこを訪れる人々の心を動かす。この博物館は、修復を手掛けた制作者の思いを来場者へと、確かなバトンが渡される場なのである。

SWEET YARN

山本千絵子／資生堂クリエイティブ

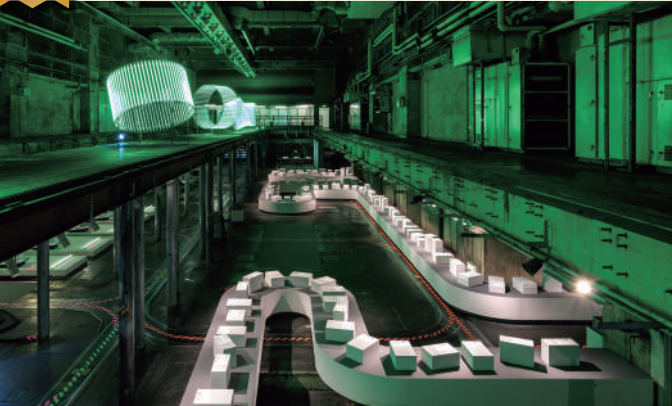


◆カテゴリー:02ショーウィンドウ&ビジュアルデザイン空間 ◆所在地または展示場所:東京銀座資生堂ビル(資生堂パーラー銀座本店) ◆完成年月または展示開始日:2023-04-08 ◆ディレクション:山本千絵子／資生堂クリエイティブ ◆デザイン:山本千絵子／資生堂クリエイティブ ◆アートワーク:齋藤さをり ◆アートワーク:佐藤一美 ◆アートワーク:山本千絵子／資生堂クリエイティブ ◆クリエイティブディレクション:信藤洋二／資生堂クリエイティブ ◆アートディレクション:山本千絵子／資生堂クリエイティブ ◆施工:現代工房 ◆クライアント:資生堂 ◆撮影者:飯野太平

選評 佐藤 可士和
歴史ある銀座のモダンなカフェを牽引してきた資生堂パーラーのウィンドウディスプレイ。資生堂デザイン伝統の唐草模様やパッケージデザインをモチーフに、手作業で紡がれた丁寧なディスプレイはスイーツのもつ繊細さ・華やかさを感じさせる。ものづくりの原点へのリスペクトと現代的なデザインを高度に融合させた、銀座ブランドにふさわしい空間を出現させている。

Sony Park展 KYOTO

中原崇志



◆カテゴリー:01エキシビション・プロモーション空間 ◆所在地または展示場所:京都・京都市 ◆完成年月または展示開始日:2022-11-11 ◆ディレクション:Ginza Sony Park Project ◆デザイン:中原崇志・阿部真理子 ◆企画:Ginza Sony Park Project ◆プロジェクトマネジメント:ソニー PCL ◆グラフィックデザイン:色部義昭／日本デザインセンター ◆クライアント:Ginza Sony Park Project

選評 田中 仁
企業のコンセプトとプログラムを一体化させ、圧倒的スケールにアーティスト作品をインストールすることで空間全体がアート作品のようにも見える。京都新聞印刷工場跡の高さ約10m、広さ約1,000m²の地下空間を使い、会社が取り組む6つの分野「ゲーム、音楽、映画、エレクトロニクス、半導体、金融(ファイナンス)」をイベントテーマとして、クリエイターと共に体験型展示としたところがユニークであり、来場者の期待が膨らむものとなっている。

花西海

坂口舞／設計機構ワークス

サステナブルデザイン賞



◆カテゴリー:04ショップ空間 ◆所在地または展示場所:長崎県東彼杵郡波佐見町 ◆完成年月または展示開始日:2022-05-01 ◆ディレクション:山口陽介／西海園芸 ◆デザイン:井佐子恵也／設計機構ワークス ◆外構設計:山口陽介／西海園芸 ◆茅葺き職人:相良育弥／くさかんむり ◆左官職人:都倉達弥／左官都倉 ◆家具デザイン:蔵谷亮介／nomade design ◆施工:上山建設 ◆クライアント:西海園芸 ◆撮影者:石井紀久

選評 アストリッド・クライン
花屋店舗の建替であるこの建築は、CLT構造の木材、壁の漆喰には地元の土、茅葺き用の麦わらや碎石など、地元で手に入れることができる自然素材を使用している。循環型の持続可能性を考慮しているだけでなく、伝統的な建築様式を現代的に解釈している点がこの建築を際立たせている。茅葺きの大きく張り出した軒と下部の石積みに覆われた壁とに挟まれた透明なガラスが美しく、3本の水平帯はインパクトがあり、建物の全面に設置されたサイン以上に、建築そのものが象徴的なサインとして機能している。

% Arabica Riyadh Roastery

渡辺淳／乃村工藝社 no.10



◆カテゴリー:05食空間 ◆所在地または展示場所:Welfare Center.Hitting District Riyadh ◆完成年月または展示開始日:2022-05-01 ◆ディレクション:渡辺淳／乃村工藝社 no.10 ◆デザイン:渡辺淳／乃村工藝社 no.10 ◆照明デザイン:榎並宏／L.GROW lighting planning room ◆施工:Dahan General Trading and Contracting Co. ◆クライアント:ASIAMIX ◆撮影者:Mashal Alhalafi

選評 森井 良幸
フロアレベルの操作で立体的な空間をつくり、レイアウトも含めたシンメトリーな構成をコンセプトカラーであるホワイトを基調としてまとめた、緊張感のある美しいデザイン。建築的な要素である固定物をホワイト、機能的なマシーンがシルバー、商品のコーヒー含む可動物がブラウンというルールの下でまとめられ、冷たさの中にも暖かさや活気、作業効率を感じさせる空間に仕上がっていてとても良い空間である。

Renovation of old Hui-style buildings in Longwu, Hangzhou

Wang Hui／Outlooker Design

サステナブルデザイン賞



◆カテゴリー:07サービス・ホスピタリティー空間 ◆所在地または展示場所:Longwu Wangjia Mountain, Hangzhou, China ◆完成年月または展示開始日:2022-07-15 ◆ディレクション:Wang Hui／Outlooker Design ◆デザイン:Wang Hui／Outlooker Design ◆詳細デザイン:Liu G／Outlooker Design ◆家具設計:Peng Yi／Outlooker Design ◆ランドスケープデザイン:Chen／Wood Bud Floral Studio ◆3Dレンダリング:Zhan／JZ space Renderings ◆施工:RURO ◆クライアント:Xuan Shan ◆撮影者:Ping Zi

選評 中村 拓志
回族の古い建築を保存しながら、カフェや宿泊施設に改築した作品。古建築の改修マナーとしては、古いものと新しく手を加えたものをわかりやすく区別し、考古学的価値を壊さないことが求められる。作者は新しく手を加えた部分を、空間や家具といったカテゴリーを超えて、地面とつながった白いボリュームに統合することで、新旧を対比させている。それでいて回族の伝統的建築の内外壁に用いられてきた漆喰壁との親和性も高いため、古いものと新しいものが絶妙に調和した空間となっている。

ESHIKOTO 臥龍棟・酒楽棟・地下蔵

古谷俊一／古谷デザイン建築設計事務所・藤井信介／Design Eight



◆カテゴリー:06大規模商業空間(又は、複合施設空間) ◆所在地または展示場所:福井県吉田郡永平寺町下浄法寺 ◆完成年月または展示開始日:2022-06-01 ◆ディレクション:水野直人／黒龍酒造 ◆デザイン:古谷俊一／古谷デザイン建築設計事務所・藤井信介／Design Eight ◆総合デザインプロデュース:流石創造集団 ◆照明デザイン:ニューライトボタリー、ティノクワン・ライティング・コンサルタンツ ◆施工:西村組 ◆施工:ID 空創 ◆施工:村中建設 ◆クライアント:石田屋二左衛門 ◆撮影者:中山保寛、ジョシュアリバーマン

選評 水野 学
日本酒の酒蔵は全国に1,400以上あるといわれている。そして残念ながら、経営状態が厳しい蔵も数多く存在するのが実情である。しかし、日本酒を造ることは、日本の文化を守ることでもある。風土とともに生まれ、風土に育まれ、人の手が加わり、人の手に渡る。この素晴らしい酒造りの文化は、何もしなければ、世界へ広まっていくことはない。酒造りの過程、思い、もたらす経験までを、しっかりと伝わる形でコミュニケーションしていく必要がある。酒造りの魅力を伝えるための工夫が随所に見られる点が、素晴らしいかった。

水道橋のオフィスビル

田中裕一、中本剛志／STUDIO YY



◆カテゴリー:10オフィス空間 ◆所在地または展示場所:東京都千代田区神田三崎町 ◆完成年月または展示開始日:2023-01-31 ◆ディレクション:田中裕一、中本剛志／STUDIO YY ◆デザイン:田中裕一、中本剛志／STUDIO YY ◆構造設計:井上健一／井上健一構造設計事務所 ◆設備設計:武井敏雄／武井設備研究所 ◆プロジェクトマネジメント:田中一午／K&T一級建築士事務所 ◆一部内装施工:関東谷誠／グッドライフ ◆施工:大洋建設 ◆クライアント:ヘルシーウッド ◆撮影者:海谷征生／エスエス

選評 アストリッド・クライン
バルコニーやテラス、植物は誰もが大好きで、それらが生活を豊かにし、生産性を向上させる精神的利点があることは既知の事実だ。このプロジェクトは、古いオフィスビルに付加価値を与える非常に賢い提案で、このような手法がもっと浸透すべきだと感じた。コンクリート構造の一角を飛び出させて、三角形の敷地を活用しながら、グリーンを配したテラスで内部空間を外に向かって開放し拡張している。以前は閉じた外装であったとは思えないほど、今では人々が働きたくなり、長居したくなるような親しみやすい魅力的な場所となっている。

修成建設専門学校 空間デザイン学科の2023年度トピックス

空間デザイン学科科長
イベント実行委員会 委員 鍵谷 啓太

私たち修成建設専門学校は明治43年の開学以来、「学生一人ひとりを見つめ、一人ひとりの将来を考える学校」という方針のもとで建設分野のスペシャリストを育成する機関として、人材育成と専門教育の二面からアプローチする教育を行っています。なかでも空間デザイン学科では一級・二級建築士やインテリアコーディネーター、プランナー、商業施設士、パース検定1級などへの

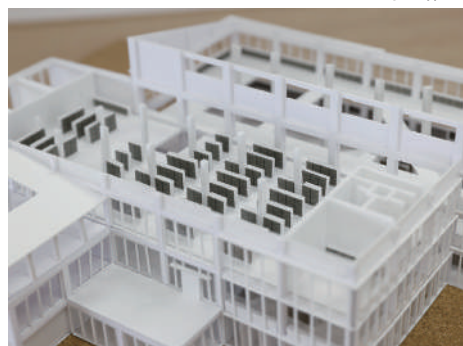
在学中合格を目指す資格学習はもちろん、様々な企業団体との産学連携授業や、第一線の建築家・デザイナーによる講師陣の演習や座学授業を通じてコンセプト立案からデザイン製作、そしてプレゼンテーションまでの能力を育成し、未来の空間デザイナーを社会に送り出すことを目的とした教育を続けています。

授業の風景



コロナの中断を経て4年ぶりに実施できた、ヨーロッパ建築・デザイン研修では、北部イタリアを列車で旅行。

学生作品



毎年3月に開催される卒業設計展の審査の様子。JCD関西支部より中村支部長に審査委員としてご参加頂きました。

つくるを 創り 続けて 繋がってゆく。

ものづくりをする人を、創り（育成）続けて百余年。
その信頼と実績が、社会との強い繋がりをつくっている。
そして、この想いは未来へと。



学校法人 修成学園

修成建設専門学校

一級建築士受験資格認定校 職業実践専門課程認定校

- 建築学科 ■建築デジタルデザイン学科
- 空間デザイン学科 ■建築施工学科
- 土木工学科 ■建設エンジニア学科
- ガーデンデザイン学科 ■建築・デザイン学科（夜）
- 専科2級建築士科 ■専科1級建築士科

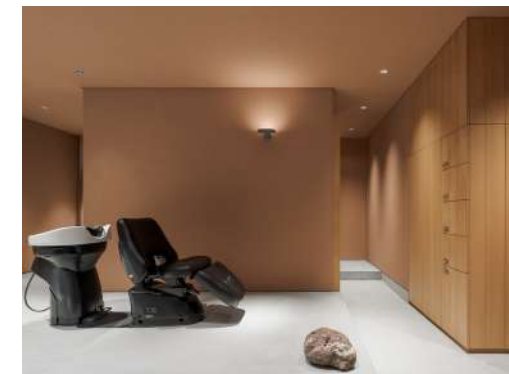
● 新入会員紹介 ●

池田 励一 Ikeda Reiichi

株式会社 REIICHI IKEDA DESIGN



空間デザイナー。1981年滋賀生まれ、大阪芸術大学卒業。(株)インフィクス、(株)乃村工藝社などを経て、2012年「REIICHI IKEDA DESIGN」を設立。商業空間、ホテル、オフィス、会場構成、マンション・住宅などの多岐にわたるデザイン・ディレクションを行う。単なる装飾的な思考ではなく、あらゆる情報や状況を積み重ねていくことで、導き出されるデザインをコンセプトに取り組んでいる。主な仕事として「日本新薬京都本社KOKU」、「ROHM東京ビジネスセンター」、「BnA HOTEL」、「BAKE」、「KURA CHIKA TACHIKAWA」、「8b DOLCE Foshan」がある。国内外多数の受賞歴あり。大阪芸術大学非常勤講師。



株式会社 REIICHI IKEDA DESIGN
〒544-0011
大阪市生野区田島1-15-10
〒106-0044
東京都港区東麻布3-3-6-203
代表取締役
Mobile:080-3793-0797
E-mail:ikedareiichi@reichiikeda.com

JCD Kansai
<https://www.jcd-kansai.jp/>

archiproducts
AWARDS
WINNER

JCD (一社) 日本商環境デザイン協会
17th PRODUCT OF THE YEAR 2023
Semi-Grand Prix
準グランプリ受賞



SAKYU 砂丘



はたらく家をつくる
ADAL
ADVISOR FOR AMENITY LIFE

ORGATEC TOKYO
SHIFT
DESIGN

未来を創るデザインがある。
オルガテック東京 2024
2024.5.29(Wed)~31(Fri)
東京ビッグサイト東4-6ホール

秋のトークイベント NEXT GENERATION—デザイナーとメーカーの新しいカタチ—vol.1 イベント実行委員会 委員 盛 世匡

これからの次世代を担う賛助企業若手スタッフと、若手デザイナーとのネットワーキングを主旨に、様々な建材メーカーの賛助企業様、インハウスデザイナー、アトリエデザイナーが集いました。

JCD関西支部会員の枠を超えた、関西のインテリア業界を横断的に交流を得たイベントとなり、特に第一部の若手企業スタッフによる自身が関わる担当商品の特徴や営業活動の取り組みについてのプレゼンテーションでは、沢山の質問が飛び交い、企業間、デザイナー共に互いに大いに感化された刺激的な交流となりました。相互の学びと気づき、仕事にかける熱意とチャレンジ思考が会場に程よい緊張を生み、伝えたい思い満載でまだ話したりないスタッフさんもいらっしゃいました。

第二部の“チーム・パートナーとしての役割と意義”のトークでは、村西貴洋氏(大光電機(株) TACT)が照明メーカーの技術者／インハウスデザイナーと、著名インテリアデザイナーとのパートナー的な連携作業による共創がクオリティーの高いデザインを生むことを熱く語って頂きました。単なる業務上のやりとりではなく、互いに妥協のない切磋琢磨した掛け合い、互いにデザインの可能性を信じる阿吽の呼吸のような気概を通して空間が作りあげられていく様が、会場出席者皆さんに深い感銘を与えたのだと思います。出席者の多くが、企業スタッフの一員としての役割、業務を通してデザイナーと共に作り出



懇親会も開催



日時：2023年10月27日(金) 18:30～21:00
場所：遠藤照明 大阪ショールーム 2F
来場者数：43名(参加企業12社)
モデレーター：盛 世匡(株アルテ・アバン)、仲 達則(株遠藤照明)
コメンター：橋爪宏輔(株スペース)、山根 歩(株スペース)、倉知優歌(株乃村工藝社)、原 一生(Studio Ku_Haku)、三宅右記(ミギリデザイン(合))、岸上純子(SPACESPACE—級建築士事務所)
ゲストスピーカー：村西貴洋(大光電機(株) TACT)

す空間価値の可能性に共感を得たようでした。

最後にはアトリエ系若手デザイナー3名を交えての、それぞれのデザインのアプローチや最新物件の紹介など、次世代の若手デザイナーのデザインに求める視点や、素材への拘りや新しい素材の用途などが会場の皆さんと享受できました。

本イベントのタイトル「NEXT GENERATION—デザイナーとメーカーの新しいカタチ—」が意図するように、実の交流の場を通して、これまでに見えてこなかったニーズや新しい市場の可能性、それら新しい価値に対する若手企業スタッフや若手デザイナーの取り組みが、集大成となって共感価値を生んだ刺激的なイベントとなりました。これからも継続的に流動的で活発な若手の個性が発揮できる場をJCD関西支部の活動を通して共に作っていきましょう。

USD-Oデザインカンファレンストーク

統括委員長 斉藤 俊二

USD-Oデザインカンファレンストーク「デザイン新常态」&学生シンポジウムは、デザイン系学生・教員・研究者・インテリアデザイナー・クリエイターが一堂に会し、アウトプットに役立つ知見を広げるためのデザイン交流を目的としたエデュケーションプログラムで、インテリア&デザインの向上ならびに産業の活性化に向けた社会貢献活動の一つとして開催している恒例のイベントです。今回のテーマは「新しい循環型社会へ向けてのデザイン」。

従来のデザイン提案から、端材活用、地域保全と継承、リノベーション、温故知新、サステナブル、環境再生、都市化が進むベトナムでの環境提案など、循環型社会の実現のために自分たちにできることは?、豊かな暮らしの実現に向けた“これからのデザインについて”、身近なアイデアから夢の提案～実践例など、アイデアを持ち寄り、様々な方向からプレゼンテーションされました。

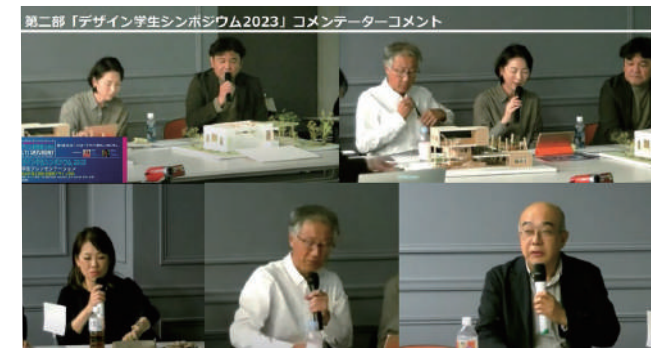
第一部:「USD-Oデザインレクチャー(デザイン新常态14th)」専門家によるトークセミナー。※JCD関西支部より東理事、斉藤統括委員長(USD-O会長)が登壇しました。

第二部:「デザイン学生シンポジウム2023」大学教授によるキーノートスピーカー講演、7大学の学生によるプレゼンテーション。

第三部:「懇親会(ポットラックパーティ)」パネリスト、コメンター、参加者の皆さんとの懇親会。



第一部：JCD 関西支部より東理事・斎藤統括委員長が登壇



第二部：学生プレゼンテーション&コメンターによる講評風景 (JCDより斎藤が参加)



第三部：(ポットラックパーティ) パネリスト、コメンター、学生との懇親会

2023JCDKansai クリスマスイベント NEXT GENERATION-デザイナーとメーカーの新しいカタチ-vol.2 賛助委員会 委員長 仲 達則

12月の恒例行事になりましたJCDkansaiクリスマスパーティー、今回は遠藤照明のショールームにて開催させて頂きました。企画内容は内装会社で働くインハウスデザイナーにスポットを当て、乃村工芸社様、丹青社様、スペース様のこれからのリーダーにトークして頂きました。

第1部はこれからの若手デザイナーの、第2部は各社これからのリーダーが集まり、それぞれのデザインに対しての向き合い方やリーダーに求められる事など、さらには賛助会員メーカーの皆様からの質問にもセッションし盛り上がりのあるトークが繰り広げられました。

まず今回のこの様なインハウスデザイナーにスポットを当てた理由ですが、私が新人の時に育った照明メーカーでは、有名インテリアデザイナーとお仕事をする機会が比較的多いメーカーだったので、デザイナーさん同士の繋がりや情報交換などが現場が終わった後、当たり前のように行われていました。

「あのタイル素敵」「あの店のカウンター施工大変だった」など仲間と意見を言い合える場があり、野井さんの設計されたBarでは白熱して語って、特に失敗した笑い話などは時間を忘れて朝まで…というようなことが繰り広げられていました。その時感じたのがライバルにこんな自分の弱点を曝け出すなんて、凄いなと。

そんな話をしていた人たちも今では若手が憧れるデザイナーになられ、雑誌に常連で掲載されておられる今でも、デザイナー仲間を大切にお仕事されておられます。

次に企画のきっかけになったキーワードは「世代」です。あるデザイナーのお話で自分が新人だった時に“親身に対応してくれた照明メーカーの担当者と共に成長して苦楽を共にしたパートナーだからこそ、言葉以上に分かりあえるコミュニケーションがある”とインテリアデザイナーさんに教えられました。実際に私も新人時代に厳しかったデザイナーさんにアドバイスやご指導頂いた時、

日時：2023年12月6日(水) 18:30～21:30
場所：遠藤照明 大阪ショールーム
来場者数：93名(賛助会員39名、デザイナー43名、一般11名)

同世代のデザイナーさんに励ましてもらった経験は今でも覚えていますし現在もその方からお仕事やプライベートで食事する関係です。

この様な経験から今回はインハウスデザイナーの同世代が集まり、お仕事ではライバル関係である乃村工芸社様、丹青社様、スペース様のインハウスデザイナーが普段の働き方や部下への接し方、先輩から受け継いだ大切にしている事などフリートークで意見交換する場を企画しました。恐らくインハウスデザイナーが意見交換する様なイベントが大阪では珍しく、その結果がご来場人数に表れていると思います。

今後、インハウスデザイナーとアトリエデザイナーとの同世代で働き方の違いや工夫している事など意見交換できる場を企画させて頂き、JCD関西支部の盛り上がり貢献させて頂ければ幸いです。



第1部
デザイナーと
メーカーの
新しいカタチ

賛助会員様の商品説明と、
これからの次世代を担う
賛助企業若手スタッフ様との
トークセッション



第2部コメンテーター 村西貴洋(大光TACT)、大塚知明(丹青)、出口智彦(乃村)

第2部
次世代の
ニューリーダーによる
「インハウスデザイナーの
あるべき姿」



バンドメンバーと
参加者が
一体となった
熱狂ライブ



第15回 大阪市あきないグランプリ

理事 東 潤一郎

2024年1月17日、ホテルロイヤルクラシック大阪にて、第15回大阪市あきないグランプリの表彰式が開催されました。大阪市あきないグランプリは、大阪市内商店街の中から様々な個性を活かした店舗を発掘し、表彰しているアワードで、今年で15回目となります。

審査方法

個性的で魅力ある店舗が、特性に応じた評価を受けることができる様に、「物販・サービス部門」「飲食部門」の2つの部門に分けて、消費者の目線に立った審査が行われています。

第1次審査:各区商店会連盟会長から推薦された店舗について「大阪市あきないグランプリ第1次審査(書類審査)評価基準」に基づき書類審査を実施し臨店審査対象店舗を選出します。

第2次審査:臨店審査対象店舗について、「大阪市あきないグランプリ第2次審査(臨店調査)評価基準」に基づき、審査期間内にミステリーショッパーズ(覆面調査員による覆面調査)方式により、臨店審査を行います。

最終審査:臨店審査の結果を受け、最終審査会にて表彰店舗を選考します。(大阪市あきないグランプリ公式HPより)

日本商環境デザイン協会は、店舗デザインの専門家審査員として、2023年11月22日の最終審査会に今年も参加させて頂きました。

日時：2024年1月17日(水)
場所：ホテルロイヤルクラシック大阪
最終審査員：東理事、山田評議員
表彰式参加：中村支部長、東理事

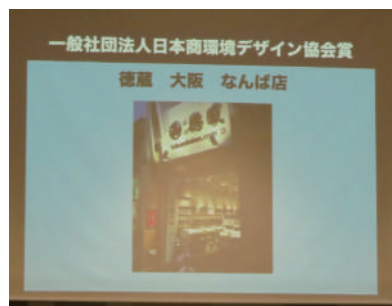
第1次審査を通過した各店の臨店審査レポートを見させて頂き、審査させて頂いていますが、あきないの街大阪で生きる店舗の力強さを実感いたしました。

新しい業態にチャレンジする若きオーナー、昔から変わらない商いを続ける老舗の後継者など、様々な店舗の営みが大阪の街に彩りと活気を与えていることを再確認できました。

店舗設計に関わる専門職集団として店舗の繁栄の一助となり、本アワードがより多彩な店舗で溢れることを願います。



受賞者の前原香葉子さん
(グレイジア株式会社)と
中村支部長



JCD賞を受賞した
「徳蔵 大阪なんば店」

大阪市
**あきない
グランプリ**
OSAKA AKINAI GRAND PRIZE

受賞店舗

グランプリ《大阪市長賞》
水滴々

準グランプリ
大阪市商店会総連盟理事長賞
L'atelier caramel
大阪商工会議所会頭賞
ガーデンカフェ楽

特別賞
一般社団法人日本商環境デザイン協会JCD賞
徳蔵 大阪なんば店
一般社団法人日本空間デザイン協会DSA賞
restaurant KOBÔ
大阪市高速電気軌道株式会社 Osaka Metro賞
覚王山フルーツ大福弁才天 なんば店
関西エアポート株式会社 関西エアポート賞
黒門みとや

優秀賞
応募部門2部門から約50店舗を選出

空間プロデュース展2024

支部長 中村 裕輔

昨年に続いて2回目の開催となるmebics様主催の「空間プロデュース展」にDSA様(一般社団法人日本空間デザイン協会)と共同出展しました。

昨年の開催後の10月にmebic御担当者の宮崎様がJCD委員会に來られ、改めて展示会の趣旨や第1回目の成果を報告して頂き、その場で引き続き今回の出展を決定しました。(※mebic:大阪市経済戦略局のデザイン興隆を目的とした外郭団体)

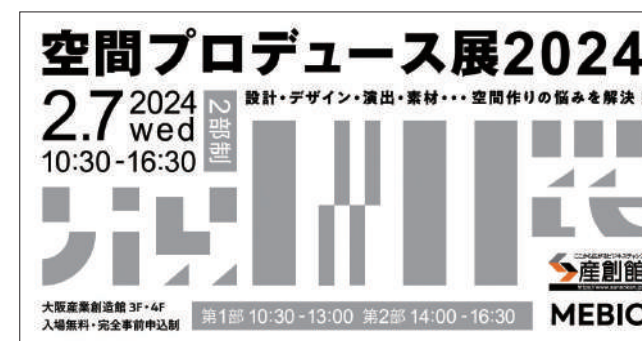
早速DSA様との内容協議に入ったのですが、時期が早いことと他支部との兼ね合いで「空間アワード」のパネルが使えないことが発覚し、二転三転した結果、ロール紙で出力した簡易的な展示とそれを補う作品や贈賞式の様子を映像で展開することにしました。

今年も設計会社や建材メーカー、ディスプレイ会社など

日時：2024年2月7日(水) 10:30～16:30
場所：大阪産業創造館 3階
来場者数：合計455名

空間創出に関わる様々な企業48社が出展し、盛況な中での展開を迎えました。また、JCD正会員のa.a.cの浦田さんがアクアリウムの展示で出展し、来場者の目を引く効果を挙げられていました。

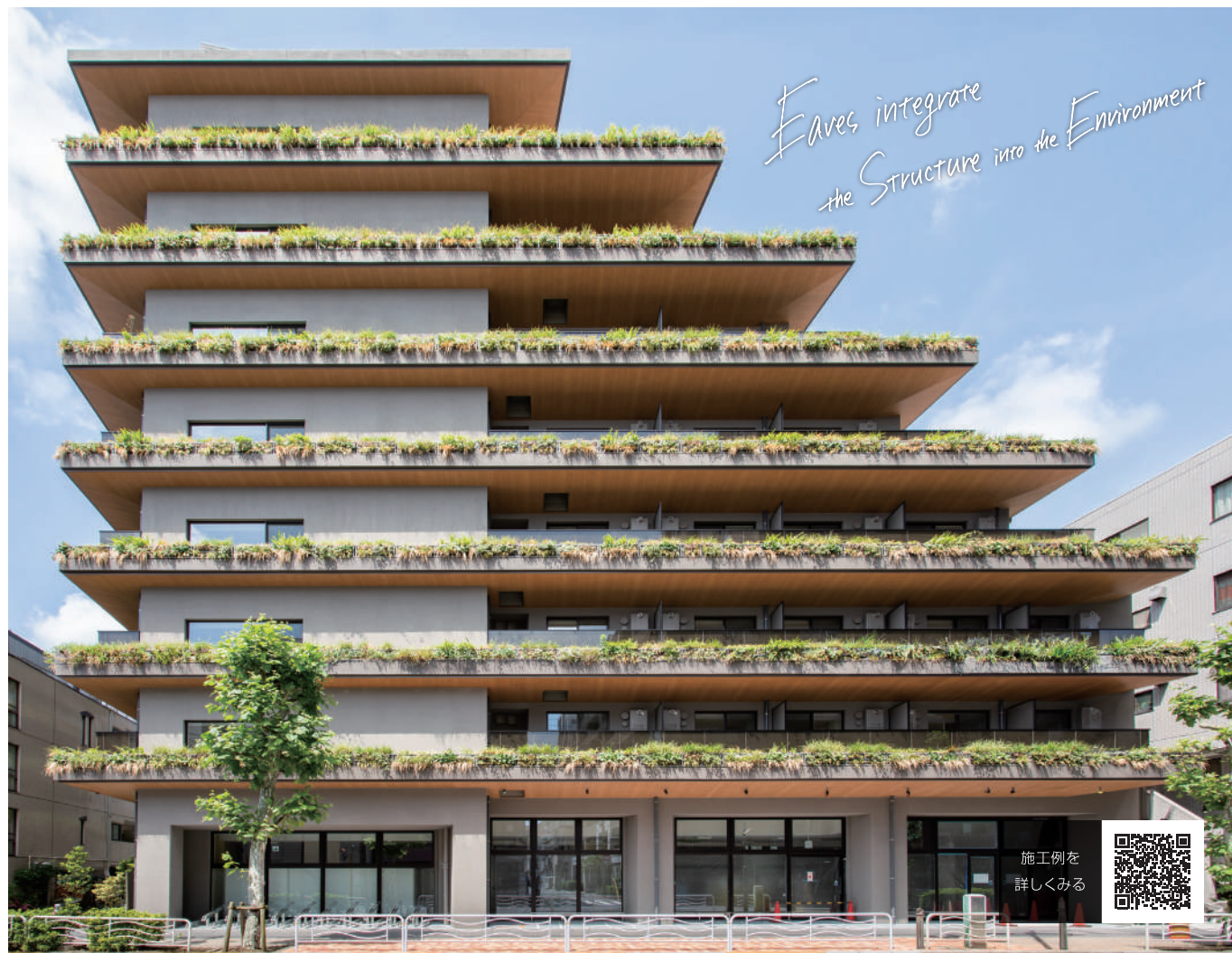
ただ、惜しまれるのは我々が出展した3Fと上層階の4Fに賑わい間の差があり、4Fからの順路ということを補う誘導や、来場者の目的ブースへの立ち寄り以外に、立ち止まって頂く為の各ブースの視認性の発揮がやや不足していたのではないかと考えられました。我々のブースの反省も踏まえて次回に生かしていきたいと考えています。



JCDブース



DSAブース



*Eaves integrate
the Structure into the Environment*

施工例を
詳しくみる



鋼製下地 (LGS天井下地) に施工できるようになりました。

設計価格: 9,200円/枚 (3,337円/㎡) 不燃材料認定番号: NM-3010 (有効板除く)



ティンバーベージュ

ティンバーブラウン

ティンバーチャコール

ティンバーベージュ

EAVES
軒天12木目調

●印刷物のため実物の色柄と異なる場合がございます。実物サンプルにてご確認ください。



素晴らしい人間環境づくり

ニチハ株式会社

<https://www.nichiha.co.jp/>

お客さま相談室 TEL (052) 220-5125 受付時間/月~金 AM9:00~PM5:00 (土・日・祝日・5月GW・夏期休暇・年末年始を除く)